

国名	ブラジル連邦共和国 (Federative Republic of Brazil)	
主要な言語	ポルトガル語	
人口学的データ	総人口 (人) (2022年) <sup>1)</sup>	203,080,756
	15歳未満人口割合(%) (2022年) <sup>1)</sup>	19.76%
	65歳以上人口割合 (%) (2022年) <sup>1)</sup>	10.92%
	平均寿命 (歳) (2022年) <sup>2)</sup>	男性72歳、女性79歳
	5歳未満児死亡率 (出生千対) (2021年) <sup>3)</sup>	14
	妊産婦死亡率 (出生10万対) (2020年) <sup>4)</sup>	72
	後期中等教育就学率 (%) <sup>5)</sup>	男性65(%)                      女性75(%)
主要な死因(2019) <sup>6)</sup>	1位 Ischaemic heart disease 虚血性心疾患 78.6/10万対 2位 Stroke 脳卒中 58.4/10万対 3位 Lower respiratory infections 下気道感染症 44.9/10万対 4位 Interpersonal violence 暴力 32.6/10万対 5位 Diabetes mellitus 糖尿病 28.3/10万対	
主要な民族(2022) <sup>7)</sup>	白人人口white (約43.5%)、黒人人口black (約10.2%)、黄色人種asian (約0.4%)、褐色	
主要な宗教(2019) <sup>8)</sup>	カトリック50%、福音派31%、無宗教10%、スピリティズム3%、アフリカの伝統的な宗教2%、その他2%、無神論1%、ユダヤ教0.3%	
日本在留外国人 (%) <sup>9)</sup>	211,840人 (6.2%) (西暦2023年12月末)	
文化社会的特徴 <sup>10)</sup>		
1. 特徴的な価値観・行動・生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に痛みに対する閾値が低い、痛みとともに、うめき声、泣き声、叫び声をあげることもある</li> <li>・日本の市販の鎮痛薬を効き目があるとは考えない人が多く、ブラジルから送ってもらう薬に頼っている</li> <li>・レメディ、ホメオパシー、鍼灸、薬草、スピリチュアルヒーリングなどの代替療法を使用している人もいれば、処方された薬や処置を遵守する人もいる</li> <li>・ブラジルで市販されている抗生物質やその他の医薬品を使った自己治療が一般的で、専門家の治療を受ける前に行うこともある</li> <li>・声が大きい傾向があり、パーソナルスペースはかなり近い</li> <li>・日本人からすると、かなり香りの強い香水を使用する傾向にある</li> <li>・医療従事者に直接「ノー」というのは失礼であると考えられており、医療従事者と直接目を合わさないことで、敬意を示すことができると考えている</li> <li>・母国語はポルトガル語で、スペイン語と似ているができる限りポルトガル語の通訳者を使う</li> <li>・家族や友人による通訳者は、医療用語に関する知識や理解に限界があるため、コミュニケーションは文節を短くし、専門用語ではなくやさしい日本語を用い、患者が理解しているかどうかを確認しながら行う</li> <li>・親指と人差し指で作るOkサインはブラジル人にとって、性的で侮蔑的な意味のため使ってはいけないと感じている世代もいるので要注意である、すべて順調であるというサインは「親指を立てる」である</li> <li>・男性も女性も安心させるために相手の肩や腕をなでることがある</li> <li>・宗教に関連して、クロス、ロザリオなどをつけるのは一般的である、聖母マリアへの祈願の一環として、手首や足首に結ばれた特別な色のリボンは、落ちるまで外してはいけないと言われているが、必要性を説明すれば理解してもらえる</li> <li>・時間を守ることについては、日本人より緩い、ブラジルの晩餐会では食事ができる2時間ほど前に到着するよう招待する</li> </ul>	

<p>2. 重要な意思決定にあたって留意すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族内では当事者または配偶者が意思決定を行う、大家族では、学歴が高く、経済的に余裕のある者が通常家族のカウンセラーや助言者の役割を果たし、必要な時には物質的な支援を提供する</li> <li>・ブラジルでは同意書は一般的ではない、同意書の説明で起こりうる合併症やリスクに関する説明は、不安や混乱、恐怖を引き起こす可能性がある。患者や家族は、治療の選択肢について医療関係者に質問したり、セカンドオピニオンを求めたりすることには消極的である</li> <li>・重病や末期の状態について、家族によっては、患者に知られたくなかったり、間接的な方法で診断や予後の提示を望んでいる場合がある</li> </ul>
<p>3. 食文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は昼食&gt;夕食&gt;朝食で、朝食はコーヒーとパンが多い</li> <li>・サンドイッチやパンは食事ではなく「おやつ」と考えている、採血時に「最後に食事をしたのは何時ですか？」と聞くと食事と認識していないため、聞き方に注意が必要である</li> <li>・食事（ごはん）は、米や麺類とおかずの組み合わせのことである</li> <li>・ビタミンのサプリメントは食欲を増進すると信じられている</li> <li>・豚肉、海老、卵は手術後の創の回復遅延を起こすと信じている人もいる</li> <li>・水や飲み物に氷を入れるのを好む人と好まない人がいるので、希望を聞く</li> <li>・珈琲や紅茶は食事中には飲まず、食後と午前中か午後の半ばに砂糖入りの濃いブラックコーヒーを飲む</li> <li>・風邪やのどの痛み、呼吸器系の病気にかかっている場合は冷たい飲み物、食べ物は避ける</li> <li>・スイカ・マンゴー・パイナップルなどの果物と同時に牛乳や乳製品を摂取しない</li> <li>・病人にはチキンスープなどのスープが適していると考えられる</li> <li>・吐気をもよおした場合は、食事を拒否する</li> </ul>
<p>4. 衛生に関する価値観</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日シャワーを浴びるか入浴する習慣がある</li> <li>・身だしなみを大切にするため、男女とも毎日シャンプーをし、男性は頻りに髪をとかす</li> <li>・女性は爪の手入れを怠らない、マニキュアのために美容院に行くのは社交的な行為である、男性は一般的に爪を短く清潔に保つ</li> </ul>
<p>5. 受療および病人のケアに関する価値観・行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体疾患は、神の介入や運命に起因することがある。急性の病気は、発症前の活動、気温の変化、食物の摂取、強い感情に起因することが多い</li> <li>・乳幼児が新鮮な空気や風に触れると発病するというのが一般的な考え方である (pegar vento)</li> <li>・更年期は自然の摂理であり、望まない妊娠の心配から解放されるものと考えられている。頭痛、ほてる、神経過敏などの症状に対しては、ハーブ療法やホメオパシー療法が第一選択となる。ホルモン補充療法の長期使用は普及していない</li> <li>・家族のネットワークには、両親、子ども、祖父母、叔父叔母、いとこ、それぞれの配偶者、兄弟姉妹が含まれるため、面会は大人数で来る、ブラジル人は家族への忠誠心が強く、親戚を助けなければならないという義務感がある</li> <li>・特に個室の場合、常に家族が付き添うことを期待する、家族はシフトを交代し、常に患者を見守る</li> <li>・患者は、社会的・精神的なサポートとして、友人や家族の頻繁な訪問を期待している</li> <li>・障がい者は天罰や背負うべき十字架とみなすことがある。人前で恥をかかされることを恐れ、障がい者を家に閉じ込める傾向がある。</li> </ul>
<p>6. 妊娠・出産に関する価値観・行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルでは中絶は違法であり、中絶を斡旋したり同意した女性、中絶を行った者は懲役刑に処せられる</li> <li>・カトリック教会の公式見解にもかかわらず、ほとんどの既婚女性やパートナー女性は避妊をしている</li> <li>・妊婦は2人分の量を食べるため、出産時に体重が増加する人が多い</li> <li>・妊婦健診は一般的で、中流階級以上は出産準備クラスを利用することがある</li> <li>・出産時の痛みを特に恐れることが多く、経陰分娩よりも帝王切開を希望する、ブラジルの私立病院で帝王切開率は80~90%で、99%に達するところもある。その後の性交渉のため、会陰切開は希望しない。卵管結紮のため、帝王切開を希望する人もいる</li> </ul>

7. 育児に関する価値観・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルの平均授乳期間は8ヶ月で、最初の4～6ヶ月は母乳だけで育てるのが普通である</li> <li>・搾乳のためにポンプではなく、手絞りが一般的である</li> <li>・生後40日は母親はその母親や姉妹、その他の家族の支援を受けながら自宅で休養し、激しい運動や社交的な活動を避ける</li> <li>・女兒は生後すぐにピアスを開ける</li> <li>・赤ちゃんに問題がある場合は、必ず父母に伝える、母親が独身の場合は、家族や友人の立ち会いのもとで知らせる</li> <li>・割礼は男女とも日常的に行われていない</li> <li>・子どもや大人の体重増加は健康の証とみなされる</li> </ul>
8. 高齢者に関する価値観・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の女性は、家庭療法や治療法に関する知識や専門知識の主な情報源である</li> <li>・経済的に余裕がある家庭は、ホームヘルパーを雇うこともある</li> </ul>
9. 終末期・葬儀に関する価値観・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予期せぬ死を神の意志として受け止めることがある</li> <li>・死後の生について、カトリックやキリスト教の信条を持っている</li> <li>・日本で生活しているブラジル人は、終末期を自宅で過ごすことは好まない</li> <li>・終末期に面会時間を延長するよう家族から申し出がある場合は、個室に移動することがある</li> <li>・死亡が確認されたらすぐに家族に知らせ、司祭またはチャプレンを呼ぶよう申し出る</li> <li>・遺体にキスをしたり、なでたりすることもある</li> <li>・遺族は亡くなった人が着る衣服を選ぶ</li> <li>・ブラジルではエンバーミングは行わず、家族や友人は埋葬されるまで常に棺のそばで見守っている</li> <li>・遺族は埋葬のために遺体をブラジルに送ることを希望する場合もある</li> </ul>
10. 本国の医療職・医療サービスに関する特徴 <sup>11)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルでは1988年に公的皆保険として、統一保健医療システムSUS(Sistema Único de Saúde)と呼ばれる総合医療保険制度が導入された</li> <li>・このSUSは国民全員加入で治療と入院は無料で受けることができるが、薬剤は薬局で全額自己負担となる</li> <li>・Unidade Básica de Saúde (UBS)という保健センターには一般科医、産婦人科医、小児科医、歯科医と看護師が配置されており、手術や入院が必要になればSUSの病院に移すシステムである</li> <li>・2023年のデータでは国民の約25%は民間保険に加入しており<sup>12)</sup>、加入するプランによって、使用できる病院、診察、検査などに制限がある</li> <li>・2012年に老人保健施設及び療養病棟が設置された</li> <li>・2016年に介護士を職業として法的に規定した</li> <li>・レメディ、ホメオパシー、鍼灸、薬草、スピリチュアルヒーリングなどの代替療法を使用している人もいれば、処方された薬や処置を遵守する人もいる</li> <li>・ブラジルで市販されている抗生物質やその他の医薬品を使った自己治療が一般的で、専門家の治療を受ける前に行うこともある</li> </ul>
11. その他の保健医療に関する特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明らかな症状がない場合、検診を積極的に受けようとする人が少ない</li> <li>・臓器提供や移植は日本より多い</li> <li>・剖検は一般的でない</li> </ul>
12. 教育制度 <sup>13)</sup>	<p>小学校(5年)・中学校(4年)：9年(2009年より)      高等学校：3年      大学：4年</p>
13. その他の特徴	

14. 出典	<p>1) <a href="https://censo2022.ibge.gov.br/panorama/?utm_source=ibge&amp;utm_medium=home&amp;utm_campaign=portal">https://censo2022.ibge.gov.br/panorama/?utm_source=ibge&amp;utm_medium=home&amp;utm_campaign=portal</a></p> <p>2) <a href="https://agenciadenoticias.ibge.gov.br/agencia-sala-de-imprensa/2013-agencia-de-noticias/releases/38455-em-2022-expectativa-de-vida-era-de-75-5-anos">https://agenciadenoticias.ibge.gov.br/agencia-sala-de-imprensa/2013-agencia-de-noticias/releases/38455-em-2022-expectativa-de-vida-era-de-75-5-anos</a></p> <p>3) <a href="https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table2.pdf">https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table2.pdf</a></p> <p>4) <a href="https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table3.pdf">https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table3.pdf</a></p> <p>5) <a href="https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table11.pdf">https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table11.pdf</a></p> <p>6) <a href="https://data.who.int/countries/076">https://data.who.int/countries/076</a></p> <p>7) <a href="https://agenciadenoticias.ibge.gov.br/agencia-noticias/2012-agencia-de-noticias/noticias/38719-censo-2022-pela-primeira-vez-desde-1991-a-maior-parte-da-populacao-do-brasil-se-declara-parda">https://agenciadenoticias.ibge.gov.br/agencia-noticias/2012-agencia-de-noticias/noticias/38719-censo-2022-pela-primeira-vez-desde-1991-a-maior-parte-da-populacao-do-brasil-se-declara-parda</a></p> <p>8) <a href="https://g1.globo.com/google/amp/politica/noticia/2020/01/13/50percent-dos-brasileiros-sao-caticos-31percent-evangelicos-e-10percent-nao-tem-religiao-diz-datafolha.ghtml">https://g1.globo.com/google/amp/politica/noticia/2020/01/13/50percent-dos-brasileiros-sao-caticos-31percent-evangelicos-e-10percent-nao-tem-religiao-diz-datafolha.ghtml</a></p> <p>9) <a href="https://www.moj.go.jp/isa/content/001425981.pdf">https://www.moj.go.jp/isa/content/001425981.pdf</a></p> <p>10) DeAnne K. Hilfinger Messias, Tereza Cristina Macedo de Paula (2019). <i>Brazilian immigrants: Culture &amp; Clinical Care (3rd ed.)</i> (Suzanne L. Dibble, Surani Hayre Kwan, Juliene G. Lipson, Ed). Independently published.</p> <p>11) <a href="https://www.gov.br/ans/pt-br/assuntos/noticias/numeros-do-setor/setor-fecha-2023-com-51-milhoes-de-beneficiarios-em-planos-de-assistencia-medica">https://www.gov.br/ans/pt-br/assuntos/noticias/numeros-do-setor/setor-fecha-2023-com-51-milhoes-de-beneficiarios-em-planos-de-assistencia-medica</a></p> <p>12) <a href="https://censo2022.ibge.gov.br/panorama/?utm_source=ibge&amp;utm_medium=home&amp;utm_campaign=portal">https://censo2022.ibge.gov.br/panorama/?utm_source=ibge&amp;utm_medium=home&amp;utm_campaign=portal</a></p> <p>13) <a href="https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2024/_icsFiles/afieldfile/2024/04/08/03_brazil.pdf">https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2024/_icsFiles/afieldfile/2024/04/08/03_brazil.pdf</a></p>
--------	---

担当者：永田文子（淑徳大学）  
承認日：2024年10月30日